

「奄美小学校の八月踊り・六調伝承活動の取組」

1 学校名

奄美市立奄美小学校

2 学年・人数

1年生から6年生まで464人（保護者・地域住民多数）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

令和元年9月4日（水）～令和元年9月26日（木）

奄美小学校運動場，多目的ホール等

（2）発表の日時・場所

令和元年9月29日（日） 奄美小学校運動場

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

八月踊り・六調

（2）由来

収穫期を終えて，年があらたまる折々を飾るのが八月踊りである。かつては家を一軒ずつ回り，その庭先で「祝付け」の踊りを舞ったそうである。収穫のお祝いと家々間のつながり強化，お互いの助け合い精神の醸成など昔ながらの村づくりの精神を引き継いだすばらしい踊りとなっている。

（3）構成等

秋季大運動会の種目として長年引き継がれている。

クラブ活動で練習に取り組んだ児童が，三味線・チヂン・島唄を披露し，それに合わせて全校児童・教職員が一緒になって踊る。保護者・地域住民も自由に参加し，運動会を盛り上げる種目となっている。

5 保存会や地域との連携の具体

数年前までは，保存会や地域の方を指導者に招き，踊り等を練習していたが，現在は職員が全校児童へ指導している。

令和元年度からは，PTAが中心となって，保護者の練習に力を入れ，運動会当日に多くの保護者の参加をもらえるようにしている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

3年生の総合学習やクラブ活動で，三味線やチヂンを学んでいる。校長経験者を講師として，演奏の仕方や動きを教わり，学習発表会で演奏している。そのメンバー数名が，学習の一環として，大運動会で八月踊り・六調の演奏をして運動会を盛り上げている。

また，4年生は，奄美市音楽発表会において，三味線やチヂンの演奏に合わせての八月踊りや六調を披露している。さらに，校内発表会において，保護者や地域の方へも披露している。

7 取組の様子



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- 手を上げて楽しく踊れて面白かった。(1年児童)
- 三味線・チヂンの演奏が上手で、島唄の声もかわいく、子どもらしい踊りになっていた。保護者や祖父母の参加も多く、たいへん盛り上がった八月踊りであった。(PTA役員)
- 地域の方々も一緒になって踊ることで、学校の良さや子どもたちの様子を知っていただき、また一体感をもった時間を過ごすことができた。(職員)
- 三味線を上手に演奏できてうれしかった。来年も演奏してみたい。(児童)